土壌改良資材・複合微生物資材

強力カルスNC-R®

次代へ伝えたい土の力！
土から作物へ～子供たちへ

生の
有機物を
活かす

土中発酵を
促進する

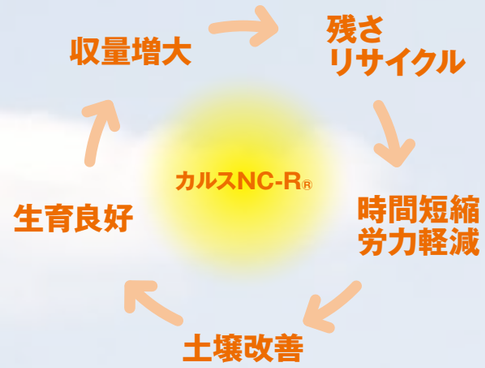
リサール酵産株式会社

「土」本来の力を発揮させる「カルスNC-R®」
主役は微生物です

ラクラク！簡単！土づくり

カルスNC-Rは、従来の堆肥づくりにおける面倒な切り返しや作業を省き大幅な省力化を実現します。

カルスNC-Rを使用する土づくりは、ほ場に完熟堆肥を使用するのではなく、生の有機物を一緒にすき込むことで微生物の働きを活発にし、土の中で堆肥化します。

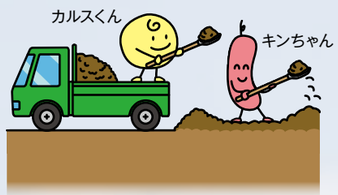


カルスNC-R®を使うと…

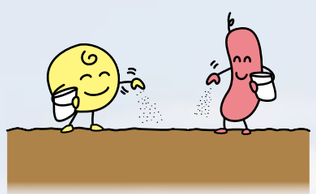
1. カルスNC-Rの施用により、土壌の微生物相が改善され、作物の生育に適した栽培環境が作られます。
2. 生の有機物を利用した土づくりにより、土壌の生物性が改善され通気性・保水性・排水性の向上が期待できます。
3. カルスNC-Rに含まれる微生物の働きにより、根圏環境が改善され、連作障害に対する副次的な軽減効果が期待できます。

カルスNC-R®使用手順

1.有機物をまく

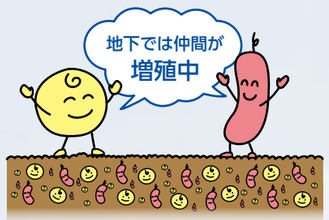


2.カルスNC-Rをまく

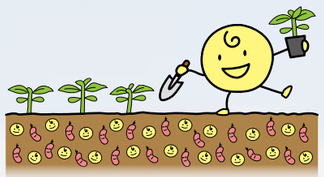


3.速やかにロータリーですき込む

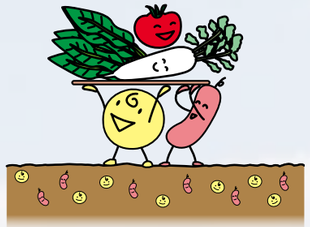
1～3週間あけて



4.作付けをする



5.そして、収穫する



カルスNC-R®使用量（10アール当り）

施設野菜・花卉	3～4袋（30～40kg）
露地野菜・牧草	2～3袋（20～30kg）
果樹・お茶	2～3袋（20～30kg）

土壌水分はタップリと！

微生物を活発に働かせるために、土壌水分が少ない時はすき込み後、潅水を行ってください。
(特にハウス内で著しく乾燥する場合は、必ず潅水が必要です。)

地温によって異なります

微生物の活動に最適な地温は15～35℃です。
これ以外の地温でも使用できますが、状況によって効果の現れ方は異なります。

有機物投入の目安（10アール当り）

	有機物の種類	有機物の量	硫安（炭素率調整）	米ヌカ（増量材）	有機物の分解期間
1	緑肥（ソルゴー）	全部	不要	200～300kg	1～2ヵ月
2	作物残さ	全部	不要	200～300kg	1～2ヵ月
3	生モミガラ	1トン（約8反～1町歩でとれる量）	40kg※	200～300kg	6～10ヵ月
4	畜ふん生堆肥（オガクズ・チップ・モミガラ入り）	5～7トン	不要	200～300kg	6～10ヵ月

基肥は、作物に応じて通常どおり施用することを基本とします。

※生モミガラを使用する際は、基肥の窒素分とは別に微生物のための窒素分が必要となります。これを忘れると作物が窒素欠乏になる恐れがあります。
ただし、この量は一般的なほ場に使用する場合の目安ですので、過度にECの高いほ場や多量の肥料成分が残っているほ場の場合は使用量を減らすなど調整が必要となります。

切り返しのいらない土中ボカシ

米ヌカなどの有機物を直接ほ場にすき込み微生物の力で基肥（ボカシ肥）とすることもできます。この場合、ボカシ材料の総重量に対して5%以上のカルスNC-Rを添加し、すべてをすき込みます。
すき込み後、10日以上経てば作付けが可能となります。

◆栽培上の留意点

1. 記載した使用方法については基本的な方法であり、使用する時期や有機物の種類と量によっては、すき込みから作付けまでの期間をさらにあける必要があります。

2. 直播き栽培で使用する場合、条件によっては害虫による発芽不良が懸念されます。この対策として、薬剤による防除を行わない場合、有機物をすき込んでから、播種までの期間を3週間はあけてください。
ただし、季節によって異なります。

◆使用上の注意

1. 本資材は微生物資材です。土壌消毒剤使用後の本資材施用は、土壌消毒剤の効果が消えるまでの期間をあけるなど充分注意をしてください。なお、前記期間については、使用する薬剤の製造メーカーや販売先へ確認してください。

2. 石灰類の使用には充分注意をしてください。石灰窒素には殺菌作用がありますので、石灰窒素を使用する場合は、製造メーカーや販売先、石灰窒素工業会などにお問い合わせしていただき、充分な期間をあけてから本資材を施用してください。
また、他の石灰類は使用できますが、本資材との同時混用は避けてください。

3. 本資材を施用する際は、ゴーグルやマスク等を着用し、本資材の施用後は手洗い・うがいをしてください。

4. 万一、本資材が目に入った場合は、擦らずに流水で充分にすすぎ、症状によっては医師の診断を受けてください。

◆保管上の注意

1. 本資材は土壌改良資材（微生物資材）ですので、早めにご使用ください。保管される場合は冷暗所に置いてください。

2. 未開封の場合でも、製造月から2年以内にご使用ください。

3. 開封後の保管は袋の口をヒモでしっかりと結び、ひっくり返しておくか粘着テープでよく密封してから冷暗所に保管するなどして、できるだけ6ヵ月以内で使い切るようにしてください。

4. 本資材は肥料・農薬ではありませんが、事故防止のため幼児の手の届かない場所に保管してください。

■製造元

リサール酵産株式会社

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-110-12
TEL 048-668-3301（代）　FAX 048-668-3315
http://www.resahl.co.jp/
0120-120-612